

# 令和7年度障害者虐待防止・権利擁護研修実施要項 市町虐待防止センター担当職員等研修コース

## 1 目的

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の趣旨を理解するとともに、担当職員が行う虐待対応の手順や考え方、虐待の被害者や目撃者に対する面接の技術等を学ぶことで専門性を強化し、法の円滑施行を図ることを目的とする。

## 2 実施主体実施機関

山口県

## 3 実施機関

一般社団法人山口県社会福祉士会

## 4 対象者

市町虐待防止センター担当職員、市町障害福祉施策担当職員

## 5 定員

30名

## 6 受講料

無料

※オンデマンド講義に係る必要な通信機器及び通信環境並びに資料の印刷などの費用は自己負担となります。

## 7 研修方法

### 【 オンデマンド講義 】

- ・研修方法：動画研修（オンデマンド配信）
- ・視聴期間：集合研修参加まで

### 【 集合研修 】

- ・研修方法：集合形式
- ・開催日時：令和7年11月27日(木) 9：20～16：50
- ・研修会場：YMfg 維新セミナーパーク 2階 中研修室

## 8 研修プログラム

別紙カリキュラムのとおり（別紙1）

## 9 受講に関する連絡方法

申込締切以降に、受講可否、オンデマンド講義のURLなど、本研修に関する連絡は、申し込みの際にご登録いただきましたメールアドレスにEメールにて行います。

※yamaguchi-kenriyougo@jeans.ocn.ne.jpより送信いたします。このメールを受信できるように、予めメールソフト、スマートフォンなどの設定を行ってください。

## 10 申込方法

掲載しているURLから、申込フォームにアクセスし、必要事項を入力し、お申し込みをお願いします。お預かりした個人情報は、本研修の運営目的以外では使用いたしません。

【申し込みフォーム二次元コード】

【申込フォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dist/S72768028/>



## 11 申込期限

令和7年10月31日（金）17時まで

## 12 自然災害等による中止について

自然災害発生等、その他研修を開催するにあたって支障をきたす事案が発生した場合やむを得ず研修をオンライン形式への変更、または、中止とする場合がございますので、予めご了承ください。形式の変更や中止とする場合は、メールでお知らせいたしますので、各自、研修参加前に必ずご確認されますようお願いいたします。

## 13 お申し込みから受講までの流れ



申込受付	令和7年10月31日（金）17時まで
受講に関する連絡	11月中旬頃には、オンデマンド講義の動画視聴用URL等を申込の際にご登録いただきましたメールアドレスにEメールにて送付いたします。
オンデマンド講義 (動画視聴)	各自、ご都合の良い時間、場所でご視聴受講ください。 ※ 集合研修参加前には、視聴を完了してください。
集合研修 (演習)	令和7年11月27日（木）9：20～16：50

## 14 資料（参考テキスト）

障害者虐待の防止と対応の手引きなどを紹介します。

（下記URLからダウンロードできます）

- 「市町村・都道府県における障害者虐待の防止と対応の手引き」及び「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」の一部改訂について（事務連絡）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001282168.pdf>
- 「市町村・都道府県における障害者虐待の防止と対応の手引き」（自治体向けマニュアル）（令和6年7月）  
<https://www.mhlw.go.jp/content/001282169.pdf>

## 15 申込・問合せ先

山口県障害者権利擁護センター

〒753-0072 山口市大手町9番6号 山口県社会福祉会館内

TEL：083-902-8300 FAX：083-922-9915

メール：[yamaguchi-kenriyougo@jeans.ocn.ne.jp](mailto:yamaguchi-kenriyougo@jeans.ocn.ne.jp)

# (別紙1) 市町虐待防止センター担当職員等研修コース カリキュラム

※内容については、プログラムの一部、演題等が変更される場合もあります。

## ■ オンデマンド講義 (集合研修参加日までに視聴)

科目/講師	時間	内容
I 障害者虐待防止総論-成立までの経過、社会的意義 野澤和弘 氏 (植草学園大学)	30分	障害者虐待防止総論/成立までの経過、社会的意義
II 障害者虐待防止法の概要 関哉直人 氏 (弁護士)	45分	「障害者虐待」の定義/障害者福祉施設従事者等による障害者虐待/虐待行為に対する刑事罰
III 当事者の声 (調整中)	-	当事者の気持ちを知ることで障害者虐待防止・権利擁護の重要性を理解する。
IV 性的虐待の防止と対応 堀江まゆみ 氏 (白梅学園大学)	30分	性的虐待が起こる背景と通報における課題/性的虐待の事例と防止のための対応
V 身体的拘束等の適正化の推進 厚生労働省	30分	身体拘束の廃止に向けて/やむを得ず身体拘束を行うときの留意点
VI 通報の意義と通報後の対応～通報はすべての人を救う～ 曾根直樹 氏 (日本社会事業大学)	30分	通報義務/立ち入り調査等の虚偽答弁に対する罰則/通報後の通報者の保護/虐待防止の責務と障害者や家族の立場の理解

科目/講師	時間	内容
I-1 養護者による障害者虐待の防止と対応① 野村政子 氏 (東都大学ヒューマンケア学部)	30分	障害者虐待の防止に向けた取組/障害者虐待の早期発見に向けた取組
I-2 養護者による障害者虐待の防止と対応② 谷口泰司 氏 (関西福祉大学社会福祉学部)	35分 25分	養護者による障害者虐待が発生した場合の対応 (初動期対応、対応段階、終結段階)
II 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の防止と対応 遅塚昭彦 氏 (さいたま市自立支援協議会)	60分	通報受理から事実確認、虐待判断、対応計画の策定と評価・終結の流れと各段階のポイント/施設等に対する指導助言のポイント
III 使用者による障害者虐待の防止と対応 厚生労働省	30分	使用者による障害者虐待の現況と虐待防止に向けた対応
IV 事実確認調査における情報収集と面接手法 (基礎編) 曾根 直樹 氏 (日本社会事業大学)	20分	事実確認調査における情報収集と面接手法/事例を通じた実践準備
V 事実確認調査における情報収集と面接手法 (聞き取り面接における留意事項) 曾根 直樹 氏 (日本社会事業大学)	60分 20分	事実確認調査における情報収集と面接手法/事例を通じた実践準備

※ V 事実確認調査における情報収集と面接手法 (応用編) については、必須視聴とせず、基礎編視聴後に関心が高まった場合に適宜視聴してください。

## ■ 集合研修（演習）

- ・研修方法：集合形式
- ・開催日時：令和7年11月27日（木） 9：20～16：50
- ・研修会場： YMfg 維新セミナーパーク 2階 中研修室

時間	内容
9：00～	受付
9：15～9：20	オリエンテーション
9：20～9：30	『障害者虐待対応状況調査の結果』 講師：上野 大輔 (山口県障害者支援課/在宅福祉推進班)
9：30～16：50 360分 + 昼食休憩、休息	『養護者による障害者虐待防止の通報受理から 養護者支援の検討にかけての演習』  『施設従事者による障害者虐待防止の通報受理から 事業所指導の検討にかけての演習』  講師：磯地 美香（山口県障害者権利擁護センター委員長）